

財団法人原爆の図丸木美術館 2010年度 事業報告書

1. 財団法人原爆の図丸木美術館の維持運営について

A	入館者総数	15,246人
	内訳	
	大人	6,782人
	学生(中学生・高校生)	578人
	小人(小学生)	446人
	団体大人	2,300人
	団体学生	3,144人
	団体小人	398人
	招待	1,598人

[正味財産増減計算書より]

B	入館料収入	9,236,000円
C	基本財産運用収入	1,436,700円
D	会費収入	5,218,790円
E	寄付金収入	1,917,031円
F	図録販売収入	1,425,725円
G	書籍販売収入	1,172,356円
H	物品販売収入	1,939,602円
I	雑収入	311,796円
J	その他事業収入	880,000円
K	ギャラリー賃貸収入	32,000円

2. 丸木美術館企画展

- (1) (12月19日から) 4月1日－4月10日
没後10年 丸木俊展
会期中入館者 144名 (前年度分2, 140名)
- (2) 4月17日－7月10日
OKINAWA
会期中入館者 4,704名
- (3) 7月17日－9月4日
武田美通展
会期中入館者 4,072名
- (4) 9月11日－10月15日
今日の反核反戦展2010
会期中入館者 1,723名
- (5) 10月19日－1月15日
没後15年 丸木位里展
会期中入館者 2,760名
- (6) 1月22日－2月19日
冬みんなのアート祭り (同時開催: 大逆事件100年特別展示)
会期中入館者 884名
- (7) 2月26日－3月31日 (4月30日まで)
第五福竜丸事件 (同時開催: 大川美術館所作品によるベン・シャーンの世界展)
会期中入館者 436名

3. 館外展覧会

- (1) 丸木位里・丸木俊・丸木スマの世界展 4月28日－6月14日 (沖縄県・佐喜眞美術館)
丸木位里・丸木俊・丸木スマ作品
会期中入館者数 7,802人
- (2) イノセンスーいのちに向き合うアート 7月17日－9月20日 (栃木県立美術館)
丸木スマ、大道あや作品など
会期中入館者数 9,263人
- (3) いのちの伝承 8月1日－8日 (神宮寺)
原爆の図《竹やぶ》
会期中入館者数 1,500人
- (4) 第6回原爆の図展 8月2日－5日 (原爆の図を見る会・文京／文京シビックセンター)
原爆の図《とうろうながし》《からす》、緞帳
- (5) 日本画の前衛展 9月3日－10月17日 (京都国立近代美術館)
丸木位里作品
会期中入館者数 8,504人
- (6) 丸木スマとアール・ブリュット展 10月8日－11月14日 (富山県・西田美術館)
会期中入館者数 1,363人
- (7) ちひろとちひろが愛した画家たち展 11月17日－1月30日 (ちひろ美術館・東京)
丸木位里、丸木俊作品

- 会期中入館者数 11,977人
- (8) 日本画の前衛展 1月8日－2月13日 (東京国立近代美術館)
丸木位里作品
会期中入館者数 10,406人
- (9) 日本画の前衛展 2月22日－3月27日 (広島県立美術館)
丸木位里作品
会期中入館者数 6,118人

4. (催事) 特別なプログラム

- ・ 5月5日開館記念日 (42回目) 参加者約330名
 - 午前10時 上映会「みなまた海のこえ」
 - 午前12時 丸木美術館クラブ
 - 午後1時 「開館記念日のつどい」
 - 午後1時半 コンサート 東京荒川少年少女合唱隊
 - 午後2時 講演 佐喜眞道夫さん (佐喜眞美術館館長)
 - 午後3時半 友の会有志主催による「友の会パーティ」
- ・ 8月6日 ひろしま原爆忌 参加者約290名
 - 午前中 とうろう作り
 - 午前12時 丸木美術館クラブ
 - 午後2時 増山麗奈 NPT再検討会議に対するピースアクションの報告
 - 午後3時 西本宗一さんのお話
 - 午後4時半 栗友会合唱団コンサート
 - 夕刻から ひろしま忌のつどい・針生一郎館長追悼
都幾川にてとうろう流し
- ・ 11月5日 スリーデーマーチ
日本スリーデーマーチのコースとして、当日は150名ほどの入館者を得た。

5. 常設展示

〈休館日〉

- ・ 月曜日 (祝日の場合翌平日) ※7月20日～8月末日の間は無休。
- ・ 年末年始 (12月29日～1月3日)

6. 入館料

一般大人	900円	団体等割引大人	800円	障害者大人	450円
〃 学生	600円	〃 学生	500円	〃 学生	300円
〃 小学生	400円	〃 小学生	300円	〃 小学生	200円

* 学生は中学生・高校生

* 20名以上の団体、60歳以上、比企地域在住、チラシ持参者に割引を適用

* 特別割引日

- 1, 5月5日 開館記念日・・・高校生以下無料
- 2, 8月6日 ひろしま原爆忌・・・無料
- 3, 11月5日 スリーデーマーチ・・・参加者大人・高校生→団体扱い
// 中学生以下→無料
- 4, 11月14日 県民の日・・・高校生以下無料

7. その他

(1) 企画展関連行事

企画展 (2) OKINAWA

- ・沖繩戦終結から65年 追悼企画 6月26日
朗読：「おきなわ島のこえ」「ウンジュよ」谷 英美 (アローンシアター)
講演：「〈原爆〉と〈沖繩〉から視る戦後日本—「OKINAWA 一つなぎとめる記憶のために」にふれて—」石川 翠 (美術評論家)

企画展 (3) 武田美通展

- ・オープニングイベント 7月17日
対談「戦死者の声をどう聞くか」
武田美通×杉田明宏 (大東文化大学・平和学)

企画展 (4) 今日の反核反戦展2010

- ・針生一郎を偲ぶ会・オープニング・イベント 9月11日
講演とパフォーマンス

企画展 (5) 没後15年 丸木位里展

- ・講演会「丸木位里の芸術・鬘光との交流」11月13日
講師：ヨシダ・ヨシエさん (美術評論家)

企画展 (6) 没後15年 丸木位里展

- ・オープニング イベント 1月22日

企画展 (7) 第五福竜丸事件展

- ・連続トーク第1回 3月5日
出演：アーサー・ビナード (詩人)、大石又七 (元第五福竜丸乗組員)
- ・連続トーク第2回 3月26日
出演：安田和也 (第五福竜丸平和協会事務局長)、竹峰誠一郎 (三重大学研究員)
朗読『ロンゲラップの海』(石川逸子詩、好村俊子朗読)

(2) 丸木美術館クラブ

2002年度より始めた年齢を問わず参加の可能な美術工作教室が月1回開催された。

- 第88回 4月17日 長一い板を、ゆかいにぬろう (谷口幹郎)
- 第89回 5月5日 石ころにアートしようよ、すごいぞう (石塚悦子)
- 第90回 6月19日 丸木位里さん俊さんが読んだ新聞を楽しくコラージュするよ (小林政雄)
- 第91回 7月10日 面白キャンドルを創っちゃおう (大島翠砂)
- 第92回 8月6日 思いもよらないものから思いもよらないものを作るよ (鈴木好子)
- 第93回 9月25日 押し葉で面白い貼り絵を作る (福岡清子)
- 第94回 10月30日 ゆかいな木にゆかいな色をぬるぞ〜 (遠山昭雄)
- 第95回 11月20日 切手で楽しいアートをしようよ (谷口幹郎)

第96回 12月11日 えーっ!! これでクリスマスグッズ作るの? (本川なおこ)

第97回 1月22日 おもしろいもので版画するよ! (石塚悦子)

第98回 2月26日 昔のふろしき布をコラージュしましょう (鈴木好子)

(3) 東松山市立小学校でのワークショップ開催

・唐子小学校で3年生を対象に、10月に2回のワークショップを開催した。

(4) 丸木美術館アートスペース・その他の館内展

(i) 8月1日-8日 大塚直人展 (アートスペース貸しギャラリー企画)

(ii) 11月20日-23日 平川恒太展 (アートスペース貸しギャラリー企画)

(5) 東松山こども環境まつりへの作品展示参加

10月9日、市民文化センターで開催された東松山こども環境まつりでブースを開設し、原爆の図写真パネルと木の実などで作った唐子小学校ワークショップ作品を展示した。

また、丸木俊の紙芝居「天人のはごろも」を上演した。

(6) 喫茶 (カンパ形式) の開設

コーヒー、紅茶等のサービスを行い、75,889円のカンパを受けた。

(7) 彩の国文化の森連絡協議会への参加

近隣の施設における共通の課題である来館者の増加とその便宜を図るため、昨年度に引き続き上記協議会に参加し、地図製作、スタンプラリー、近隣小学校への情宣などを行った。

10月15日に武蔵丘陵森林公園にて彩の国文化の森まつりを行った。

(8) 埼玉県博物館連絡協議会への参加

県内館園相互の交流、ならびに連絡協調を行っている。

(9) 美術館ニュースの発行

年4回発行した。

(10) 博物館実習生の受け入れ

以下の通り計7名の博物館実習生を受け入れ、終了した。

・大東文化大学1名

・千葉大学1名

・東京国際大学1名

・日本女子大学1名

・一橋大学1名

・跡見学園女子大学2名

8. 特別会計事業

- (1) 特別会計における事業として、丸木位里・丸木俊の絵本原画を山中氏より購入し、その一部の修復・額装を行った。